

2010 年度もたくさんの笑顔に会えました！

病気と向き合う子どもが笑顔になる贈りもの事業

★ 継続するための大きな課題は、安定的な「資金」です ★

- 千葉県遊技業協同組合「夢まるふぁんど」助成
主催：子ども劇場千葉県センターで県内3箇所実施
- 独立行政法人福祉医療機構「先進的・独創的活動支援事業」助成
主催：子ども劇場全国センター
実施団体：子ども劇場千葉県センターで県内1箇所実施

長期入院している子どもたちに、病院内での生活に笑顔であふれるひと時を届けたい！付き添っている保護者も、医療にあたるドクターも、看護師さんも、いっしょに笑える楽しい空間をつくりたい！と始めたこの事業は、今年で4年目になります。病気の時でも健康な時でも、すべての子どもたちにとって「子どもの権利条約31条・子どもの文化権の保障を実現する環境づくり」を目指すのがこの事業の趣旨であり、子ども劇場千葉県センターのミッションでもあります。そのミッションが実現している瞬間を感じる「子どもの笑顔」でした。

千葉県こども病院

日にち：2010年8月25日（水）

会場：4F 東病棟、外来ホール

参加者：153人

作品：「ともしびパネルシアターコンサート」
(ともしび音楽企画)

4Fの病棟では血液疾患の子どもたちが入院中、みんなかわいい帽子をかぶっての参加。点滴をしている子どもたちもなめちゃんの歌声や、パネルシアターに徐々に集中していました。初めは小さい声で歌っていた子どもたちも、笑顔と大きな声で反応し始め、付添いのお母さんたちも始終笑顔。会場全体が楽しさや優しい雰囲気包まれました。

国立国際医療研究センター 国府台病院

日にち：2010年10月19日（火）

会場：院内小学校・中学校教室

参加者：83人

作品：「アンディ先生のマジックショー」
(マジックファクトリー)

鳩の登場で子どもたちは大いに盛り上がりました。会場の中にいる子どもたちは参加型のマジックに積極的に手を挙げ、アンディさんのサポートでマジックに挑戦したりしていました。廊下から見ていた数人の子どもたちも中の様子を気にしながら参加し、公演が終了してもアンディさんやスタッフを囲み話がつきない様子でした。

国保松戸市立病院

日にち：2010年10月6日（水）

会場：小児医療センター内会議室・病棟訪問

参加者：43人

作品：「びりとブッチイのクラウンシアター」(着い企画)

今回初めて実施することになった病院でした。「今日はいったい何が始まるのだろ」という期待感を持って子どもたちが待っていてくれました。びりとブッチイが創り出す世界は思わず笑ってしまうような、心温まるもので、見る人すべてを幸せにしてくれました。病室から出られない子どもたち一人一人に、その子のためにだけの風船をプレゼンしました。

独立行政法人国立病院機構 下志津病院

日にち・会場：2010年11月10日（水）

会場：筋ジストロフィー病棟プレイルーム・小児科病棟

参加者：70人

作品：「びりとブッチイのクラウンシアター」(着い企画)

プレイルームではベットのままで参加している子、病状にあった車いすでの参加など様々な状態に対応するため、病院のスタッフの協力で公演の場所や、置く位置を決めました。ベットのままだ見ていた子が目で表現したり、体位を変えてもらったりして最後まで見ました。呼吸器をつけた患者が「たのしかった」と、一生懸命口を動かして伝えてくれました。

子どもたちや保護者の声や様子

- ・ひよこの歌がたのしかったし、ミッキーの歌も楽しかったしおもしろかった（4歳）
- ・ぜんぶおもしろかったです。また見たいです（8歳）
- ・楽しんでる様子が映像のように移り変わり、心を開いていく様子が手にとるようにわかった。
- ・たくさんのお友達と一緒に歌を歌ったりして、気分がかわってとてもいいと思う。大きな声を出して笑ったり体を動かすことができ楽しい時間を過ごせました（保護者）
- ・日常では辛い処置が多い分、非日常の楽しい出来事は余計楽しい経験として心に残り支えになると思う。（保育士）
- ・病院にいることをわすれていました。（保護者）



「病院の子どもたちのための憲章」

子どもたちは、年齢にあったあそび、レクリエーション、及び、教育に完全参加すると共に、ニーズに合うように設計され、しつらえられた、スタッフが配属され、設備が施された環境におかれるべきである。

(1988年、オランダのレイデン「第1回病院の子どもヨーロッパ会議」で合意)。第7条より抜粋

※この事業は、長期入院している子どもたちに、クラウン、マジック、人形劇、落語等、プロのパフォーマーによる小作品を病院(小児病棟)へ届け、子どもたちのとびっきりの笑顔や喜びの音が聞こえる楽しいコミュニケーションの場を創ること、合わせて付き添う保護者もほっと安心できる時間を創ることを目的としています。千葉県ではすでに4年間の実績があり、また、子ども劇場全国センターが全国的にも展開し、全国の病院にも届けています。